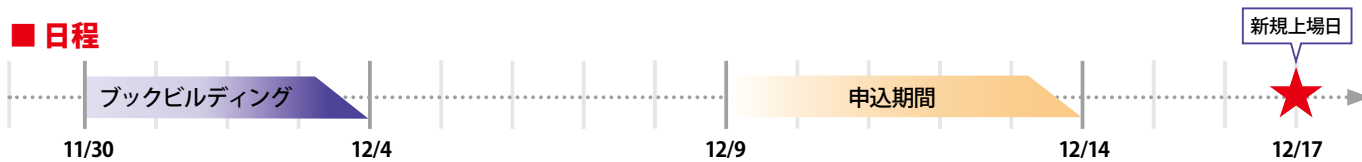


IPO銘柄 ミズホメディー (4595・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4595	100株	公募: 21.75万株 売出: 10.85万株 (OA4.89万株)	980円~1,100円 (11.4倍)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券

■ 日程



体外診断用医薬品を製造・販売

■ 事業内容

体外診断用医薬品の開発、製造、販売を手掛ける。主要製品はインフルエンザ検査などに用いられるPOCT (Point of care testing) 検査薬で、医家向け製品に感染症迅速診断システム、免疫血清検査薬、生化学検査薬、研究用試薬などがある。主に「クイックチェイサー」シリーズとして展開中。当初の主力は生化学検査薬だったが、現在では診断分野の中で最も市場の大きい免疫血清検査薬となっている。一般向け製品として妊娠検査薬、農業分野向け製品に果樹ウイルス検査薬などもある。妊娠検査薬「P-チェック・S」は一般用 (OTC) 医薬品として自社ブランドだけでなく、大手ドラッグストアチェーンのプライベートブランドとしても販売している。体外診断用医薬品事業の単一業態。

■ 特徴

特許による競争力の高さが特徴で、診断薬の基本技術、応用特許だけでなく、デバイス、検査部材、装置に至るまで広範囲の特許を保有。他社には真似できない事業展開を進めている。今後についても引き続き新技術開発に注力し、POCT検査薬、機器試薬市場で事業拡大を図る考え。また、本社と鳥栖工場において品質システムの国際規格ISO13485を取得し、自社で一貫した事業体制を構築している。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年12月期の非連結経常利益は前期比32.3%減の3億1,000万円を計画する。妊娠検査薬の売り上げは堅調に推移するものの、棚卸資産廃棄損を計上するほか、業容拡大に向けた人件費増加、研究開発費増加の影響で減益を見込んでいる。なお、収益は最終四半期 (10~12月) に偏重する傾向がある。

■ 定性分析

バイオベンチャー以外の医薬品関連は安定イメージが強いものの、IPOマーケットで人気とは言えず、かつ、業績予想は減益見込み。ただ、仮条件は目論見書記載の想定発行価格 (980円) を上回る水準に設定されている。地合いも良好で、事前の人気は高いようだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は4億円程度。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給面は非常に良好。IPOマーケットへの投資家の注目度が高まっていることもあり、こうした軽量級案件は短期資金のターゲットになりやすくなっている。(小泉健太)

■ 類似企業

ミズホメディー (4595・JASDAQ)	予想PER11.4倍 (仮条件上限)
カイノス (4556・JASDAQ)	予想PER9.8倍
栄研化学 (4549・東証1部)	予想PER18.9倍

■ 引受証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券、岡三証券、大和証券、西日本シティTT証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年12月期(実績)	3,248	2.0	194	0.0	139	61.2	65.8	20.0
14年12月期(実績)	3,986	22.7	459	136.6	317	128.1	150.0	46.0
15年12月期(会社予想)	4,105	3.0	310	▲32.3	204	▲35.4	96.5	27.0

※ 15年10月に株式分割(1株→5株)を実施。13年12月期、14年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年12月期	423	2,744	884	329	418.3	32.2	16.7
14年12月期	423	3,217	1,159	329	548.4	36.0	31.0

※ 13年12月期および14年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	唐川 文成	848,670	40.13
2	ミズホメディアー社員持株会	277,610	13.13
3	唐川 則康	194,965	9.22
4	山里 将浩	120,255	5.69
5	西日本シティ銀行	100,000	4.73
6	國分 幸一	77,500	3.66
7	渡辺 亀四郎	66,000	3.12
8	山口 和也	57,500	2.72
9	立石 貞則	48,000	2.27
10	李 春億	46,000	2.17

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	唐川 文成
常務取締役 技術統括担当 兼 開発企画部長	今村 正
取締役 知的財産部長 兼 製造部品質保証部及び安全管理室担当	市丸 和広
取締役 経理部長 兼 総務部担当	佐々木 寛
取締役 開発部長	植原 謙次
取締役 営業本部長 兼 海外事業部長	神原 俊夫
取締役	佐々木 克
監査役(常勤)	立石 貞則
監査役	重見 亘彦
監査役	橋本 高吉

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。